蝶と蛾 *Tyô to Ga*, **40** (3) : 189－191, 1989

ジャワ島（インドネシア）で採集したオナシアゲハについて

加藤信一郎

〒665　兵庫県宝塚市清荒神 4 -13-20

Notes on *Papilio demoleus* LINNAEUS Collected in Jawa, Indonesia (Lepidoptera, Papilionidae)

Shin-ichiro KATO: 4-13-20, Kiyoshikojin, Takarazuka-city, Hyogo, 665, Japan

筆者は 1988 年 9 月, 西ジャワ山地の高原地帯とボゴール, ジャカルタの効外で採集を行なう機会を得た. 季節は乾季末で, 花木•草花の多いところでもチョウ影はきわめて薄く, 全くの貧果であったが, 9 月 24 日, オナシアゲハのメスを 1 頭採集した. ジャワ島では初めての記録と思われるので報告する.

なお, 報告に先立って, 発表を奨められ, 種々ご教示に預った五十嵐邁, 川副昭人両博士氏, ならびに現地で協力頂いたYONNO氏, Haji DADANG氏に深謝申しあげる.

Papilio demoleus LINNAEUS オナシアゲハ 1♀, Desa Dadog, Jawa Barat, Jawa.
Sept., 24. 1988. S. KATO leg. (Figs. 2, 3)

ダドッグ村は, ボゴールからバンドンに向う途中, プンチャク峠を下りて間もなく右折するとチボダス高山植物園に至るが, その手前の国道沿い左側に位置する(Fig.1). 村内の小規模な熱帯花木庭園で, 園主Haji DADANG氏の好意により約 2 時間採集させて貰った. 園内ではナガサキアゲハ, コモンタイマイ, キチョウ, メスアカムラサキ, アオタテハモドキ, ヒメアカタテハ, リュウキュウミスジ, ウスイロコノマチョウなど平地性のチョウが, 数は少ないが見られた.

当日（ 9 月 24 日）は快晴で, 正午過ぎブーゲンビリアに訪花し, 迅速に転々と吸密しているオナシアゲハ 1 ♀を採集した. 目撃したオナシアゲハはこの 1 頭だけであった.

オナシアゲハは 1960 年代の後半までは, アジア大陸南部の, 西はアラビア半島, イランからインド, スリランカを経て, 東はビルマ, マレー半島, タイ, インドシナから中国南部, 台湾に至る広範な地域と, 小スンダ列島からオーストラリア, ニューギニアにかけての 2 つの広い分布圏をもつが, その間の島しょ部, 大スンダ列島からフィリピン, マルク諸島にかけての湿潤熱帯は本種の空白地帯とされていた（CORBET, 1956; 白水, 1960). ところが, その後の本種の湿潤熱帯への進出はきわめて顕著で, フィリピン全域からタラウド諸島, サンギー諸島, スラ諸島に及び, また八重山諸島の与那国島, スマトラ島へと分布を広げている（宮田, 1973 ; 川副・若林, 1976 ; 塚田・西山, 1980).

しかし, ジャワ, ボルネオ, スラウエシ, マルク諸島は今日なお空白であり, 従ってジャワ島の記録は見出すことができなかった.

採集した個体は前翅長 44 mm, 比較的新鮮である. 前翅中室内に横に並ぶ 2 個の斑紋は分離していてアジア群の特徴を表わし, 接近または融合するオーストラリア群の亜種, *sthenelinus, sthenelus, novoguineensis* とは明らかに異なる(盤瀬, 1969). さらに前翅中央帯第 1, 2 室にまたがる黄色斑紋はほぼ同じサイズのだ円形で, 切れ目なく接し, あたかも 3 個の鏡餅を多少ずらして重ねた形状を呈する(Fig. 2). この形状はタイ, ビルマ, スマトラ産に酷似し, 原名亜種 *demoleus*, 台湾亜種 *libanius* と容易に識別できる（五十嵐, 1979, Plate 122, 6, 7, 14).

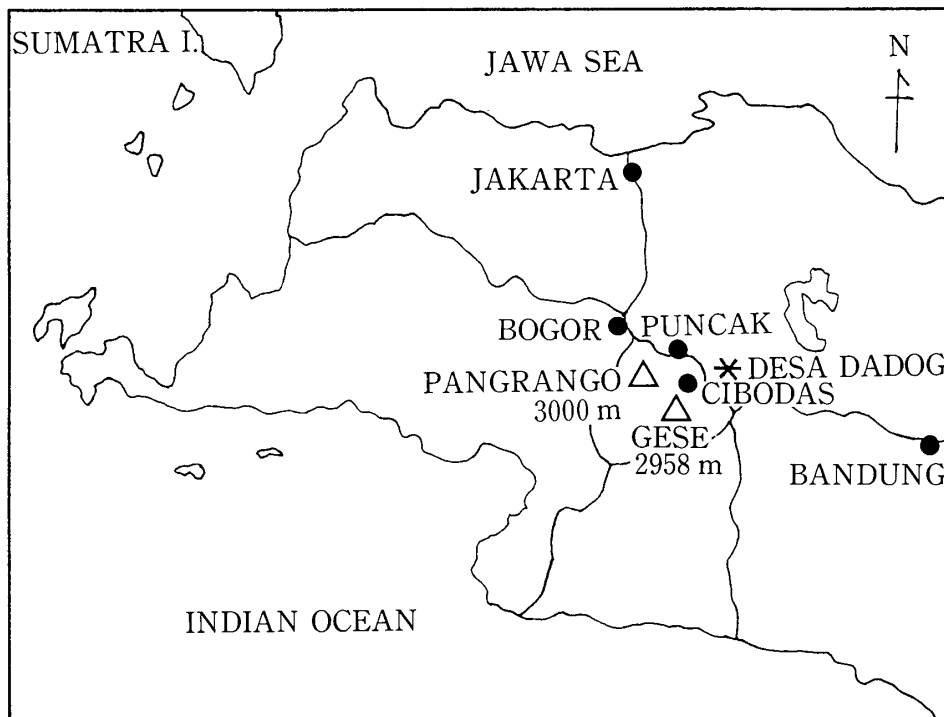
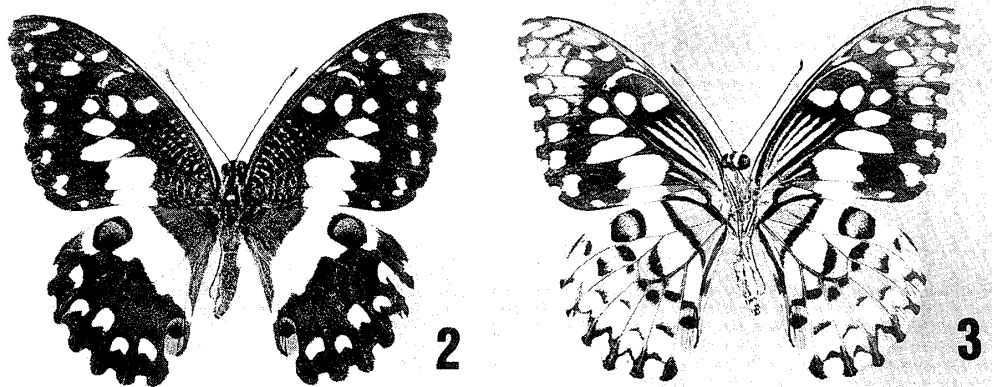



Fig.1. Map of west Jawa. ＊: the site where a female of *Papilio demoleus* L. was collected on September 24th, 1988.

Figs. 2－3. Female of *Papilio demoleus* L. collected in Jawa. 2. Upperside; 3. Underside.

採集地点がスマトラに近接する西ジャワである点を併慮すると，採集個体はマレー亜種*malayanus* と見なしてよいと思われる.

ところで，採集地の周辺一帯は，西ジャワのほぼ中央に位置するゲデ山(2958 m)山麓緩斜面に広がる高度 1000 m前後の高原状台地である．またこの地域から東方のバンドン県，チアミス県に至る山地帯は，プリアンガン地方と総称され，1602 年オランダがバタヴィア（ジャカルタ）に東インド会社を設立する以前，既にスンダ文化が栄えたところで，この地方はそのころから人間の営為が及んでいたと考えられる．現在見られる景観には，湿潤熱帯の降雨林は全くなく，代って切り拓かれた耕地•草地•二次林からなる広大なオー

プンランドがあって，その中に小規模な村落が点在する．チボダス，ダドッグ村周辺では，そこここに熱帯花木の栽培が見られ，また庭園内の一角にはミカン類が植わっていた．

立地こそ全く異なるが，それは筆者が1971年8月，パラワン島プェルト・プリンセサに近い小漁村バンカオ・バンカオンやマニラ郊外のアンティポロ村で，本種を採集した時に見た生息環境を想起させるものがあった．どうしてこのような内陸高地で今回突然得られたのか疑問は残るが，当地は荒れた乾燥地を好む本種が生息するのに決して不都合な環境ではないという印象を受けた（日浦，1973）．

このたび記録されたオナシアゲハの進入経路・手段は今さら知るよしもないが，このようなケースが一過性に終らず，繰り返されて定着・繁殖へと進むのかどうか，さらに今後の推移について調査が望まれる．

文　献

日浦　勇，1973．海を渡る蝶，116－120．蒼樹書房，東京．

CORBET, A.S. & PENDLEBERY, H.M., 1956. The Butterflies of the Malay Peninsula, 2nd ed. Oliver & Boyd, Edinburgh.

五十嵐邁，1979．世界のアゲハチョウ．講談社，東京．

盤瀬太郎，1969．オナシアゲハの6つの亜種――フィリピン産はどれか．やどりが，**60**：24－27．

川副昭人・若林守男，1976．原色日本蝶類図鑑．保育社，大阪．

宮田　彬，1973．フィリピンのオナシアゲハについて，蝶と蛾，**24**：37－41．

白水　隆，1960．原色台湾蝶類図鑑．保育社，大阪．

塚田悦造・西山保典，1980．東南アジア島嶼の蝶1．アゲハチョウ編．プラパック，東京．

Summary

The author collected a female of *Papilio demoleus* LINNAEUS at Desa Dadog, the central highland area of west Jawa, Indonesia on September 24th, 1988. This is the first record of the present species in Jawa. The specimen was identified as ssp. *malayanus*.